

第34回淑楓祭

10/31(土)・11/1(日)

9号棟の
布絵装飾



はっぴー広場で
地元小中学生の
鼓笛隊演奏



メインステージ



教育学科による「遊びの広場」



模擬店参加団体

長久手キャンパス テーマ「彩り」

2日間で
1万4000人超が来場

1日目はゲストにシンガーソングライター「清水翔太」を迎え、体育館の中は観客とゲストが一体となり大変な盛り上がりでした。また、はっぴー広場では幅広い年齢層向けの企画や団体による発表が繰り広げられ、特に長久手南小学校の鼓笛部による演奏や、よさこい団体の演技がご家族連れや地域の方々に好評でした。

2日目は毎年恒例の女装コンテスト「未来の花嫁探し」がメインステージで行われ、立ち見が出るほどの盛況ぶりでした。そして2日目の夕方からといえは、淑楓祭のフィナーレ「後夜祭」！ お笑いの「エレキコミック」をゲストに迎え、笑って踊って感動の後夜祭となりました。

大学祭当日以外では「Green & Green なまちづくり」という清掃活動ボランティアを企画・実践したり、小学校の植樹ボランティアに参加したり、地域住民の皆様と交流を深めてきました。今年度は、ボランティア活動だけでなく、たくさんの方々の地域住民の方々にステージに出演していただいたり、キャンダル製作のブースと一緒に運営したりと、今まで以上に地域住民の皆様と協力し、淑楓祭を成功させることができましたことは委員長として大変嬉しく思います。

2日間で1万4681人という多くの家族連れや学生に淑楓祭を楽しんでいただくことができました。淑楓祭を開催するに当たってご尽力いただいた大学関係者の皆様、地域住民の皆様、参加していただいた学生の皆様には心から感謝しております。



後夜祭



廃油を原料に製作したエコキャンドル

REPORT 2009

高等学校 九州☆修学旅行

A班 9/19(土)~23(水)
B班 9/20(日)~24(木)



太宰府天満宮



柳川の船下り



九州国立博物館



爆心地公園での慰霊祭

その後、長崎に入り、半日かけて平和学習を行いました。被爆者講話では昨年に続き、下平作江氏の講演。生き残った者のつらさと次世代に伝えたいという使命感を生徒たちはじっくり受け止めました。続いて爆心地公園での慰霊祭では、黙祷のあと、旅行委員が代表として考えた平和宣言が厳粛な雰囲気の中で読み上げられました。

4日目は生徒たちが最も楽しみにしていた長崎班別研修。それぞれの計画をもとに、26聖人殉教地、長崎大医学部図書館、オランダ坂、外海地区などを歩きました。

最終日は国立博物館と太宰府天満宮を見学して帰る。心配されたインフルエンザもなく、大過なく全旅程を過ごすことができました。

初日、吉野ヶ里遺跡では最近、整備された北墳丘墓で甕棺墓列などを見学。最終日の九州国立博物館特別展示「古代九州の国宝」と呼称した見学先となりました。柳川では船頭さんの軽妙な語りを聞きながら約1時間、ゆったりと船下りを楽しみました。

2日目の阿蘇は噴煙が激しく火口見学はできませんでしたが、草千里から阿蘇山を遠望することができました。

3日目は雲仙災害記念館の見学からスタート。人々の暮らしを飲み込んだ自然災害のひどさと復興の様子を見学しながら、静かにたたく普賢岳を複雑な気持ちで眺めました。

事前学習を踏まえて九州の歴史や文化を訪ねた5日間
修学旅行の眼目は二つ。「事前学習を踏まえて実際に見る」視点と、長崎での平和学習を含めた班別研修です。



普賢岳



26 聖人殉教地



野外特設ステージ

記念会堂で開かれた OHANA ビンゴ



雨の中、後夜祭の野外ステージライブ

星が丘キャンパス 淑楓祭〜きらめき祭 テーマ「ギフト」

今年度は、月に1回の清掃活動の他に、実行委員全員が近隣住宅を一件ずつ挨拶に巡るなど、地域活動に力を入れました。その結果、大学祭期間中の苦情0件！例年以上に幅広い年代の方々にもお越しいただくことができ、淑楓祭の新たな可能性の方向を掴むことができたと思っております。

淑楓祭とともに作り上げてくださった、来場者・団体・関係者の皆様へ実行委員一同心より感謝申し上げます。

長久手キャンパス・星が丘キャンパス合同テーマ 「HANA (Hoshigaoka And Nagakute)」

※両キャンパスの大学祭実行委員長による淑楓祭のレポートです



1号館階段の装飾

フリーマーケット



医療福祉学部による「ミニ眼科」



模擬店

事前に地域活動を展開、 幅広い年代が来場

2日目はあいにくの雨にもかかわらず、9000人を超える方に足を運んでいただき、キャンパス内が溢れんばかりの明るい笑顔と笑い声に満ちた2日間となりました。

色とりどりの装飾物は、華やかさに加え、道しるべやタイムテーブルなど来場者への心配りや、動く立体装飾などといった遊び心がいっぱい、思わず足をとめて見とれる姿が学内のいたる所で目撃されました。

その他にも特色ある教室企画や、星が丘キャンパスの目玉として毎年大好評の「おぼけ屋敷」、可愛い装飾の模擬店やフリーマーケット、大学祭の華、野外特設ステージにも客足が途絶えることなく、淑楓祭に一層の彩りを添えてくれました。

CAMPUS

キャンパス レポート



守礼門



体験学習 サーターアンダギー作り



体験学習 黒糖作り



美ら海水族館

11/4(水)~7(土)

中学校 沖縄☆研修旅行

**沖縄の文化、自然、歴史を
体感できた4日間**

初日は、沖縄戦を体験された安里要江さんの講話をうかがいました。米軍から逃げまどい、日本軍からガマ(壕)に逃げ込むことを拒否され、目の前で次々とご家族を亡くされるというとても辛い体験を切々とお話になりました。講和後生徒たちは涙ながらにおれの歌を歌いました。

その後に訪れたガマは真っ暗でじめじめとして、足場も居心地も悪く、そんな中で戦時中、負傷者の手当をした多くの女学生のことなどが知らされて、戦争の恐怖や悲しみを感じた生徒も多かったと思います。

2日目以降は、沖縄の文化、自然、歴史を体験しました。美ら海水族館の巨大水槽でジンベイザメと記念写真を撮ったり、カヌーに乗ってマングローブを観察したり、サトウキビを収穫して黒糖を作ったりと、沖縄の自然、風土を体感。伝統的な文化である漆喰シーサーや紅型作り、三線体験、琉球菓子作りなど、本土ではできない貴重な経験をすると共に、沖縄の人々の優しさに触れることができました。

また、三山時代のペリーが美しくと称えた中城や首里城を訪れて琉球王朝を偲んだり、嘉手納基地を見下ろして現在の沖縄が抱えている問題に思いを馳せたりしました。大変有意義な4日間でした。



ガマ(壕)を見学



安里さんの
戦争体験を聞く

